

令和5年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画（案）

1年 p. 2～15

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜導入＞ どんな うたが あるかな ～ 「かたつむり」 (7 時間扱い・4～5 月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに，範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「ひらいた ひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【知-②】 「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 拍やその流れ，速度，旋律のもつリズム，強弱，変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもったり，曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	【思-①】 「ゴー アンド ストップ」の，拍やその流れ，速度や強弱の変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の楽しさを見いだして聴いている。 【思-②】 「かもつれっしや」の拍や速度を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもっている。 【思-③】 それぞれの音楽の，拍やその流れ，速度，旋律のもつリズム，強弱を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の楽しさを見いだして聴いている。	○		○
	(3) 新しい友達と一緒に歌ったり，音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組み，様々な音楽に親しむ。	主体的に学びに取り組む態度	【主-①】 友達と一緒に歌ったり，音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【主-②】 友達と一緒にわらべうたを歌ったり，うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

※1年〈導入〉部分の評価については，全学年の評価規準と同様の表記に統一しているが，入学直後の児童の状態を把握していきながら，緩やかに指導を進めていくことが肝要である。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
リズムと なかよし (6 時間扱い・ 6～7 月)	(1) 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。			○
			互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	○		○
	(2) リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。			○
	(3) 4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム表現に親しむ。	主体的に学びに取り組む態度	4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

の 扱 め い や 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせてリズム表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合せを取り入れながら、拍にのって「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまのジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて「ぶんぶんぶん」を歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 ジェンカの曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 4 分音符や 4 分休符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たんと うんで リズムをつくろう	○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。 ○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。 ○4人ぐらいのグループでつなげて発表する。 ○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。	【思-①】 4分音符や4分休符から成るリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。
1	リズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	わくわく キッチン	○料理の様子を思い浮かべながら、「わくわくキッチン」を歌う。 ○「たん」と「たた」のリズムを意識しながら、拍にのって歌う。	【主-②】 「わくわくキッチン」の4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

＜コーナー名＞ （扱い時数・扱い月のめやす）	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜おとの スケッチ＞ ことばの リズムで あそぼう （2 時間扱い・7 月）	（1）言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりする。	知識・技能	【知-①】 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	（2）言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	【思-①】 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	（3）言葉とリズムとの関わりの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リズムや打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 言葉とリズムとの関わりの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うみ」(共通教材) (2 時間扱い・7 月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり, 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに, 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり, 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			【技-①】 「うみ」を, 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 拍やその流れ, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲想を感じ取って表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「うみ」の拍やその流れ, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲想を感じ取って表現を工夫し, どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら, 主体的・協働的に学習活動に取り組み, 日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「うみ」の歌詞の, 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち, 音楽活動を楽しみながら, 主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
どれみと なかよし (4 時間扱い・9 月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。			○
			階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○		
	(3) 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	階名と音高との関わりに気付くとともに、曲想と音階との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎どれみの うた	○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。 ○「どれみのうた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。	【主-①】 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりに気付いている。
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、旋律やその変化、音階を聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみの キャンディー	○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、< どれみのたいそう>をしながら歌う。 ○「どれみのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。	【技-①】 「どれみのキャンディー」の最後の部分を階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。 【思-①】 「どれみのキャンディー」の旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
<こんにちは けんぱんハーモニカ> (2 時間＋毎時 9～10 月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに 気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位 置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜な どを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との 関わりに気付いている。	○		
			【技-①】 「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など 基礎的な演奏技能を身に付けている。 【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふぁ そ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏 技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付 けている。	○		
	(2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働 きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表 現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをも つ。	思考・判 断・表現	【思-①】 「まほうのど」の旋律、伴奏の速度やリ ズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、 どのように演奏するかについて思いをもっている。	○		
	(3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動 を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、 鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	【主-①】 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持 ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
もりあがりを かんじて (2 時間扱い・10 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の 扱 め い や 時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	ひのまる (共通教材)	○「ひのまる」を歌詞唱する。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○もりあがりを感じながら歌う。	【主-①】 「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【技-①】 「ひのまる」を階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「ひのまる」の旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【知-①】 「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい おと みつけて (7 時間扱い・11～12 月)	(1) いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○ ○
	(3) 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度	自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い や時 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	いろいろな音の響きの特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付く。	☆いろいろな おとを みつけよう	○トライアングルで自由に音を出したり、音探しをしたりして、グループ内で一番お気に入りの音を探して発表する。 ○いろいろな楽器で音探しをし、気に入った音の一つを選んで、言葉や絵で表現する。 ○お気に入りの楽器や音で「いい音リレー」をする。	【思-①】 音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【知-①】 いろいろな音の響きの特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けてい

				る。
4	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、楽器の音やリズム、呼びかけ合いが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように音を音楽にしているかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	☆がっきの おとで よびかけっこしよう	○楽器の音で友達と呼びかけたりこたえたりする。 ○グループごとに楽器の<u>音で呼びかけ</u>っこする。 ○4分音符や8分音符で自分のリズムをつくり、つくったリズムを楽器で呼びかけたりこたえたりしてつなげる。 ○「こうしんきょく」を、呼びかけとこたえに着目して聴く。	【思-②】 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしているかについて思いをもっている。 【主-①】 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-②】 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-②】 音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-③】 「こうしんきょく」の楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ 音 楽 り	鑑 賞
<おとの スケッチ> ねこの なきごえで あそぼう (3 時間扱い・12 月)	(1) 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。		○	
			【技-①】 設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。		○	
	(2) 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	【思-①】 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。		○	
	(3) 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌 唱	器 楽	音 楽 づ く り	鑑 賞
きょくの ながれ (3 時間扱い・1 月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱い めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
-----------------------	-----	-------------------	---------	---------------

2	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おどる こねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどるこねこ」を聴く。 ○「おどるこねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】 「おどるこねこ」の楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【知-①】 「おどるこねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	楽器の音色や旋律の反復・変化等が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎おどる こねこ	○曲のよいところ、面白いところを見つけながら、「おどるこねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】 「おどるこねこ」の、楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

1年 p. 51

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜めざせ がっきめいじん＞ 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「すずめがちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
			【技-①】 「すずめがちゅん」の範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「すずめがちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 「すずめがちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽	鑑賞
うたで まねっこ (4 時間扱い・1～2 月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり に気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を 合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする 技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わり に気付いている。	○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、 拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けて いる。	○			
	(2) 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと の関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫 し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判 断・表現	歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、曲想を感じ取って表現 を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつて いる。	○			
	(3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り 組み、交互唱に親しむ。	主体的に学 習に取り組 む態度	交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に 取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材（◎鑑賞教材 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりの くまさん	○「もりのくまさん」をいろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1～5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「もりのくまさん」を交互唱する面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツ ケーキ	○「フルーツケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 互いの歌声や伴奏を聴いて、「フルーツケーキ」を声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「フルーツケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

1年 p. 32～33

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
みんなで あわせて (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○			
			互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。 ○		○	
	(2) 拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。			○
	(3) 拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

の 扱 め い や 時 数	ねらい	教材（◎鑑賞教材 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わりに気付く。	おもちゃの チャチャチャ ☆リズムを かさねて あそぼう	○「おもちゃのチャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表わす様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 「おもちゃのチャチャチャ」を、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。
1	拍や旋律、楽器の音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おもちゃの へいたい	○「おもちゃのへいたい」を、拍や旋律、楽器の音に気を付け、体などを動かしながら聴く。 ○「おもちゃのへいたい」の、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【主-①】 「おもちゃのへいたい」の拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】 「おもちゃのへいたい」の拍や旋律、楽器の音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

1年 p.24～25

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	歌 唱	器 楽	づ く り 音 楽	鑑 賞
<おとの スケッチ> ほしの おんがくを つくろう (4時間扱い・3月)	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。		○	
			【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。		○	
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。		○	
	(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

